

## 平成17年度当初予算 施策別概要

### 523 住民参画によるまちづくりの推進

52301 住民参画のまちづくり (県土整備部)  
52302 美しい景観づくり (県土整備部)

(主担当部局：県土整備部)

#### < 施策の目的 >

(対象) 地域住民、市町村が

(意図) 地域の個性を生かし、魅力ある美しい生活空間を備えたまちづくりを参画と協働で進めている。

#### < 施策の数値目標 >

目 標 項 目		H15年度	H16年度	H17年度	H18年度
住民参画でまちづくりに取り組んでいる団体数(団体)	目 標 値		650	750	850
	実績(見込み)値	642	720		

地区の社会資本整備や景観づくりに住民参画、協働により積極的に取り組んでいる団体数

#### < 平成17年度に残っている課題 >

住民満足度が高く、個性豊かで魅力あるまちづくりを進めていくため、これまでの公共事業全般を行政が担うとする役割分担から、県民の参画と協働により、地域住民の創意工夫やニーズを反映しながら社会資本の整備、管理を進めていく必要があります。

社会資本整備における住民参画を推進するため、住民参画の仕組みづくりを進める必要があります。

快適で魅力的な観光交流空間を創造していくため、自然や歴史・文化など地域の個性を生かした良好な景観形成が求められており、平成16年6月に公布された「景観法」に基づく取組を県内各地で展開していく必要があります。

魅力ある美しい景観づくりを進めるには、地域住民の創意工夫を生かした主体的な取組の中から、観光客が訪れたいまちづくりや住民が誇れるまちづくりを地域住民や市町村との協働により推進していくことが必要です。

#### < 平成17年度の施策の取組方向 >

道路や河川など県が実施する社会資本整備において、事業の計画策定、実施、管理のそれぞれの段階で県民と行政がそれぞれの役割分担の下に参画、協働が行えるようなひとづくりや組織づくりを進めます。

住民参画の仕組みづくりについては、「新しい時代の公」推進調査委員会の検討状況や社会資本整備における住民参画を進めることを理念とした条例検討の経過を踏まえて、事業執行の手引きとなるガイドラインの作成を行います。

景観づくりについては、三重県景観形成指針を基本方向として、景観交流会やパンフレットにより良好な景観づくりの取組のPRを行うなど県民等の景観に対する関心を高めるとともに、新たな景観計画の策定など景観形成施策を実施する市町村の取組を支援します。

良好な景観や歴史的な街並みなどの地域資源を活かしたまちづくりを進めるため、伊勢志摩地

域や松阪・東紀州地域のモデル地区において、地域住民や行政が協働で策定する整備計画に基づき、散策マップの作成、案内板の設置などを実施するとともに、県道など県有施設の景観整備を実施します。

<主な事業>

まちづくりダイアログ事業【基本事業名：52301 住民参画のまちづくり】

当初予算額： 3,989千円 5,274千円

事業概要：住民参画によるまちづくりに取り組んでいる市民グループやNPO等と情報交換や意見交換を行い、そのノウハウを社会資本整備の計画づくりや維持管理において住民参画が進むようひとつづくりや組織づくりに生かすとともに、道路、河川などの社会資本整備について、住民参画による計画づくりを進めます。

住民参画のプラットフォーム創造事業【基本事業名：52301 住民参画のまちづくり】

当初予算額： 17,087千円 9,104千円

事業概要：住民参画による社会資本整備を推進するため、行政職員の育成を行うとともに、住民参画の基本的なあり方や具体的な手法の紹介など実践事例をもとに事業執行の手引きとなるガイドラインを作成します。

(新)みえの景観づくり推進事業【基本事業名：52302 美しい景観づくり】

当初予算額： 千円 4,325千円

事業概要：平成16年6月に公布された景観法にかかる取組として、市町村と地域住民が主体的に検討する景観交流会の開催支援や景観パンフレットの作成により、県民等の良好な景観形成への意識高揚を図るとともに、景観法を運用していくためのガイドラインの作成や景観アドバイザーの派遣など、景観行政団体となる市町村を支援します。

(重)伊勢志摩快適空間創造事業【基本事業名：52302 美しい景観づくり】

当初予算額： 4,925千円 4,143千円

事業概要：伊勢志摩地域のモデル地区において、景観や街並みといった空間快適性を向上させるため、平成13年度に策定した整備計画をもとに、地域住民や市町村との協働によりまちづくりを実践するとともに、5年間の活動成果をまとめ、今後の地域での活動に活かします。

(重)松阪・東紀州交流空間創造事業【基本事業名：52302 美しい景観づくり】

当初予算額： 16,458千円 2,408千円

事業概要：歴史と文化を活かしたまちづくりを目指している松阪市や「熊野古道」が世界遺産登録された東紀州地域のモデル地区において、それぞれの地域資源を利活用した景観や街並みを創造していくため、平成16年度に策定した整備計画をもとに、地域住民や市町村との協働によりまちづくりを実践します。

(一部重)まちづくりプロジェクト事業【基本事業名：52301 住民参画のまちづくり】

当初予算額： 314,500千円 334,000千円

事業概要：景観づくりや街並みづくりに寄与する社会資本整備を進めるため、住民参画により策定した計画に基づき、県道等について、自然や歴史・文化など地域の個性を生かした修景整備を実施します。